

○水生生物モニタリング調査結果一覧（猪苗代湖（北岸）Ⅰ・猪苗代湖（南岸）Ⅱ）

＜猪苗代湖(北岸)Ⅰ・猪苗代湖(南岸)Ⅱ 水質底質採取項目＞

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
調査地点	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
Ⅱ－Ⅰ	○	○	○	○	○	○

＜猪苗代湖(北岸)Ⅰ・猪苗代湖(南岸)Ⅱ 現場測定項目＞

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質	底質				その他	
調査地点	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透明度 (m)
Ⅱ－Ⅰ (表層)	37.4203°	140.1008°	R6.8.28	14:30	14:30	27.6	27.3	砂	7.5Y5/3	水草, シジミ	3.5	>3.5
Ⅱ－Ⅰ (下層)												

＜猪苗代湖(北岸)Ⅰ・猪苗代湖(南岸)Ⅱ 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質＞

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
調査地点	緯度	経度	日	時刻												
Ⅱ－Ⅰ (表層)	37.4203°	140.1008°	R6.8.28	14:30	6.8	<0.5	1.9	8.6	11.3	0.06	0.9	<1	0.8	N.D. (0.0016)	0.0055	—
Ⅱ－Ⅰ (下層)					7.0	0.8	1.9	8.2	11.4	0.06	1.0	<1	0.6	N.D. (0.0012)	0.0044	0.0012

注) N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

＜猪苗代湖(北岸)Ⅰ・猪苗代湖(南岸)Ⅱ 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質＞

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成								Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2～75mm) (%)	粗砂 (0.85～2mm) (%)	中砂 (0.25～0.85mm) (%)	細砂 (0.075～0.25mm) (%)	シルト (0.005～0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)	最大粒径 (mm)			
Ⅱ－Ⅰ	37.4203°	140.1008°	R6.8.28	14:30	6.9	432	27.6	2.0	2.5	2.650	0.1	1.3	41.1	54.2	3.3		0.23	4.8	1.6	99	0.16

注) N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<猪苗代湖(北岸)I・猪苗代湖(南岸)J 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	
I-1 I-2 (北岸)	湖内 および 長瀬川	37. 5047° 37. 4995°	140. 1143° 140. 1409°	R6. 8. 29	節足動物	昆虫	トンボ	エゾトンボ	Macromia amphigena amphigena	コヤマトンボ	80	0. 041	幼虫(ヤコ)	－	－	N. D.	N. D. (1. 2)	N. D. (1. 1)	－
					節足動物	昆虫	トンボ	オニヤンマ	Anotogaster sieboldii	オニヤンマ									
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトンボ	Shaogomphus postocularis	ホシサナエ									
					節足動物	昆虫	トンボ	トンボ	Orthetrum albistylum speciosum	シオカラトンボ									
					節足動物	軟甲	エビ	アメリカザリガニ	Procambarus clarkii	アメリカザリガニ	9	0. 12	未成体/成体	－	－	3. 0	N. D. (0. 38)	3. 0	－
					節足動物	軟甲	エビ	サリガニ	Pacifastacus leniusculus trowbridgii	ウチダザリガニ	15	0. 24	未成体/成体	－	－	2. 2	N. D. (0. 29)	2. 2	－
					節足動物	軟甲	エビ	テナガエビ	Palaemon paucidens	スジエビ	526	0. 29	未成体/成体	－	－	3. 5	N. D. (0. 35)	3. 5	－
					軟体動物	腹足	盤足目	カワナ	Semisulcospira libertina	カワナ	30	0. 018	成体	－	軟体部	2. 4	N. D. (2. 1)	2. 4	－
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	Opsariichthys platypus	オイカワ	9	0. 087	未成魚/成魚	－	－	2. 9	N. D. (0. 52)	2. 9	－
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	Carassius auratus	ギンブナ	4	3. 4	成魚	不明消化物	内臓除去	4. 2	N. D. (0. 45)	4. 2	0. 33
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	Gnathopogon elongatus elongatus	タモロコ	10	0. 022	未成魚/成魚	－	－	2. 0	N. D. (1. 6)	2. 0	－
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	タイワントシヨウ	Channa argus	カムルチー	1	4. 8	成魚	空胃	内臓除去	150	N. D. (1. 7)	150	0. 81
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	Gymnogobius urotaenia	ウキゴリ	61	0. 21	未成魚	－	－	2. 7	N. D. (0. 35)	2. 7	－
					脊椎動物	硬骨魚	ナマス	ナマス	Silurus asotus	ナマズ	1	0. 28	成魚	空胃	内臓除去	2. 2	N. D. (0. 41)	2. 2	－
J-1 (南岸)	湖内 および 鬼沼周辺	37. 4203°	140. 1008°	R6. 8. 28	藻類・植物	－	－	－	－	プランクトン（浮遊藻類）	－	0. 027	－	－	－	N. D.	N. D. (1. 2)	N. D. (1. 0)	－
				R6. 8. 29	節足動物	軟甲	エビ	テナガエビ	Palaemon paucidens	スジエビ	1175	0. 55	未成体/成体	－	－	7. 9	N. D. (0. 65)	7. 9	0. 70
					軟体動物	腹足	原始紐舌	タニシ	Sinotaia quadrata histrica	ヒメタニシ	30	0. 044	未成体	－	軟体部	1. 4	N. D. (1. 3)	1. 4	－
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	Carassius auratus	ギンブナ	13	4. 0	成魚	不明消化物	内臓除去	17	N. D. (1. 1)	17	0. 43
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	Rhodeus ocellatus ocellatus	タイリクバラタナゴ	43	0. 048	未成魚/成魚	－	－	7. 6	N. D. (1. 8)	7. 6	－
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	ドジョウ	Misgurnus anguillicaudatus	ドジョウ	44	0. 049	未成魚	－	－	4. 8	N. D. (0. 83)	4. 8	－
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	サンフィッシュ	Lepomis macrochirus	ブルーギル	1	0. 17	成魚	空胃	内臓除去	7. 2	N. D. (0. 81)	7. 2	－
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	タイワントシヨウ	Channa argus	カムルチー	2	1. 9	未成魚	空胃	内臓除去	12	N. D. (1. 2)	12	0. 47
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	Gymnogobius urotaenia	ウキゴリ	34	0. 15	未成魚	－	－	11	N. D. (1. 0)	11	－
					脊椎動物	硬骨魚	ナマス	ナマス	Silurus asotus	ナマズ	2	1. 7	成魚	昆虫類(幼虫)、スジエビ	内臓除去	9. 7	N. D. (1. 4)	9. 7	0. 25

※１：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※２：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※３：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※４：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※５：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで漉した残留物を指す。

※６：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※７：N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※８：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。